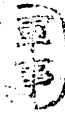


8080



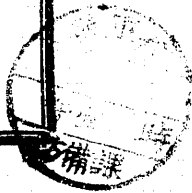
永

參謀 參密第 六三〇 號第

四七〇



參密第 三五〇



件通牒

臨時派遣第十師團船舶輸送ニ關スル命令指示

昭和二年七月八日

參謀次長

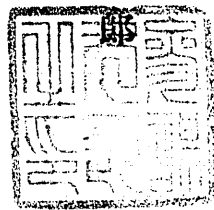
南

次

陸軍次官 畑

英 太 郎 殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通陸軍運輸部長ニ命令及指示セラレ



陸

軍

極秘

命令

- 一、第十師團（師團司令部、歩兵一旅團（四大隊））及第十四師團、野砲兵二中隊ヲ大連ヨリ又鐵道班及電信班ヲ内地ヨリ各青島ニ派遣セラレ
- 二、貴官ハ別紙乘船上陸日次豫定表ニ基キ船舶輸送ヲ實施スヘシ
- 但シ大連青島間ノ輸送ノ細部ニ關シテハ陸軍運輸部大連出張所ヲシテ直接關東軍司令部ト連絡シ之ヲ實施セシムヘシ

細部ニ關シテハ第三部長ヲシテ指示セシム

昭和二年七月八日 參謀總長鈴木莊六

陸軍運輸部長赤井春海殿

別紙

臨時第十師團乘船上陸日次豫定表

考 備 一 乘船地ハ情況ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得	臨時派遣電信班	臨時派遣鐵道班	野砲兵第三聯隊、一大隊	步兵第八旅團	第十師團司令部	部隊號
	約 二三〇	約 二四〇	約 二二〇	天連	青島	人員馬匹
	神戸					乘船地上陸地
	十二日	十五日	之ヲ決定ス	陸軍運輸部、關東軍司令部ト協議シ	乘船日次	上陸日次

指 示

- 一、本輸送、為總噸數約一萬噸ニ相當スル新徴備
船紅神戶青島間定期交通船ヲ使用ス
- 二、船内ニ於ケル人馬、給養及船内馬糧、船内豫
備糧秣、搭載ニ關シテハ昭和二年五月二十八日臨
參命第三號ニ基ク指示ニ準シ實施スルモノトス
但シ内地ヨリ派遣スル部隊、為、船内豫備
糧食ハ搭載セサルモノトス
- 三、臨時派遣第十師團、為、交通船ハ現在ノ

モノヲ使用スルモノトス

昭和二年七月八日

参謀本部第三部長 木原 清

陸軍運輸部長 赤 井 春 海 殿

防備

軍事
林

秘

密
四七の

本部
參謀第六三一號第一

陸軍部

臨時派遣第十師團輸送ニ關スル指示ノ件通牒

昭和二年七月八日

參謀次長 南

次 郎

陸軍次官 畑 英 太 郎 殿

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通關東軍司令官及近隣師團長ニ指示セラレ

陸軍部
參謀第六三一號第一

陸 軍

控

指示（電報）

臨時派遣第十師團ノ船舶輸送ハ陸軍運輸部
 ヲシテ之ヲ實施セシム
 大連青島間輸送ノ細部ニ関シテハ直接同部ト
 協定スヘシ
 右部隊ノ滿洲ニ於ケル鐵道輸送ハ軍司令官ニ
 於テ處理スヘシ

參謀總長

關東軍司令官宛

陸

軍

臨時派遣鐵道班及電信班輸送ニ關スル指示

一 鐵道輸送

鐵道及電信班ノ鐵道輸送ハ別紙鐵道輸送計畫表ニ依リ實施スヘシ

二 船舶輸送

左記乗船上陸日次豫定ニ基キ陸軍運輸部長ヲシテ之ヲ實施セシム

左記

神戸乗船

七月十二日

青島上陸

七月十五日

昭和二年七月八日

參謀總長鈴木莊六

近衛師團長津野一輔殿

大正 昭和 鐵道輸送計畫表 (其 參謀本部調製 昭和二年七月八日)

派遣輸送		輸送計畫番號															備考			
輸送部隊		鐵道班器材	電信班器材	鐵道班人員	3 局	4 電信班人員														
臨時派遣鐵道班及電信班		若干	若干	6	6	7														
輸送請求部隊		人員	馬匹	材料	荷車(噸)數	物容積才數														
計畫表配附箇所部數		一、二等客車	三等客車	馬積有蓋貨車	荷積有蓋貨車	無蓋貨車	緩急車	合計												
參謀本部 第三部	5																			
同 第四課	1																			
同 經理	1																			
近衛師團司令部	5																			
鐵道省												3								
合計												13								
輸送列車番(記)號		高田 11 350 出 場 50 品 川 77 782 品 川 77 51 品 川 77 373	新宿 77 158 品 川 77 784 品 川 77 51 品 川 77 373	110	27 33 721	35														
車輛配給		2 ⁰⁰ /9	10 ⁰⁰ /10																	
出發		千葉 中野	千葉 東京																	
到著		4 ⁰⁵ /10	3 ⁵⁶ /10	8 ⁰² /11	11 ⁰⁵ /11	1 ⁰⁰ /11														
停車場		小野濱	兩國橋	三宮																
摘要		1. 高田 11 350 - 品川 77 50 - 品川 77 782 - 品川 77 51 - 品川 77 373	2. 新宿 77 158 - 品川 77 784 - 品川 77 51 - 品川 77 373	兩國橋、東京間ハ 徒歩行軍トス	1. 東京ハ 徒歩行軍トス 2. 品川 77 33 3. 721															

備考

- 六、鐵道班器材、電信班器材、鐵道班人員、電信班人員、馬積有蓋貨車、荷積有蓋貨車、無蓋貨車、緩急車、合計、輸送列車番(記)號、車輛配給、出發、到著、停車場、摘要
- 五、兩班大所、人員、先遣、陸軍運輸部、出張所長ト、隊長、船舶搭載ニ、關スル
- 四、輸送途中、給養、部隊、自、宿、進、ル、モ、ト、ス
- 三、運賃支拂官、陸軍省、陸軍部、宿、進、ル、モ、ト、ス
- 二、所要車輛中、記號ナキモノハ、客車ニ、在リテハ、「ボギー」車トシ、貨車ニ、在リテハ、十五噸車トス
- 一、分ヲ示ス數字ノ下方ニ、横線ヲ、附シタルモノハ、午後ノ時刻ヲ示ス

6180

陸軍

陸軍

陸軍

秘密

四七〇三三二

七〇九日

第 四 號

電報譯 七月八日 午前午後 二時 三分 著

陸軍大臣宛 發信者 大連運輸部支那

(総長同文)

連才五二號

派遣部隊ハ連才四九號五〇號、如ク

輸送ニ十日於青島着

人

陸軍

00326

0320

九五
九
空

四七〇三

陸軍大臣

第二二號

電報譯 七月 九日 午前 十一時 十分 著

陸軍大臣宛 發信者 陸軍運轉部長

運一七三

銚子通信船ハ十二日神戸ニ於テ

天候力ニ搭載 十五日吉野島ニ到着

ス如ク輸送可安具施ス

陸軍

密

四七〇

四

納見 2時

第三二號

電報譯

七月

十一月

日

午前

午後

九時

時

三

分

著

八

分

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

著

陸軍大臣宛

發信者陸軍運輸部本部

運二五当部大連出張所長、報告ニ依レ六十月夜

末濃霧ノ為、香港丸ハ航行遅シ土日前九時半

青島沖ニ面哩、地奥ニ假泊中、神山丸ハ濃霧

ナレドモ航行ノ才續行シ前九時青島沖ハ三哩、

位置ヲ航行中、又潮丸ハ無線電信ヲ為不明

ナホ近海一帯濃霧ニ付、の港邊丸ナラント



大臣、次官、軍令、防備

三

三



急

四七〇

五

電報譯

七月

廿

日午前十一時

分發

第外和一號

納見



陸軍大臣宛 發信者 第十師團長

一師團ハ第一著運送船香港九ヲ以テ午後

七時半青島棧橋ニ到着セリ一般情況

天候及到着時刻ノ關係上本夜船内ニ

宿^留シ明朝十二日朝ヨリ上陸開始又神

山丸又同様ナリ天^候九トハ未ダ連絡ス

ルニ至ラス



大臣、次官、軍医、防衛

陸軍



送 四七〇 六

納見



第二九號

電報譯 七月十日 午前六時三十分 著

次官 宛 發信者 關東軍參謀長

關參九二 山東派遣部隊ハ豫定ノ如ク十日午
前十一時乃至正午ノ間ニ旅順及大連ヨリ出帆シ
十日午前青島油ニ達セシニ濃霧ノ為仮泊中
ニシテ未分上陸ノ報ニ接セズ



大臣、海軍、陸軍、防務

陸軍

0324



密 〇七〇 七

電報譯七

月十三

日午
前後

五時
三十分
著

納目



第一

五號



大臣宛 發信者 運輸部本部

運一九〇

關東ヨク派遣ノ青島輸送部隊一二世

楊陸セシモ輸送船ノ出帆ハ濃霧ノ爲メ

遅レタルカ如ク未タ報告ニ接セス

陸軍

密 第四七〇號 (八)

七月十五日

陸軍省 2.7.15 午後一時 陸務備課

次長同文

第 號

電報譯 七月十五日午前午後九時五十分發

陸軍次官宛 發信者 陸軍運輸部長

運一九四

青島派遣輸送ニ使用セシ香港

丸ハ十三日、天潮、神山丸ハ十四日

大連ニ歸着ス

天城丸ハ十五日午後五時頃青

島歸着ノ見込

Handwritten notes on the left margin.

陸軍部 陸軍部

陸軍部

陸軍部 第七號

電報譯

七月

廿五日

午後

八時

分發

大臣宛 發信者 陸軍部輸部本部

運一九八、天城入ル十五日午後八時

青島揚陸終ル香港丸十三日正午

天長丸十九日午前、時新山丸十九日

正午何シモ解備派遣輸送全部

終了

陸軍部 第七號 2. 7. 18 225 陸軍部 第七號 2. 7. 18 225 陸軍部 第七號 2. 7. 18 225

陸軍